

日本年金機構副理事長の公募結果(令和6年1月1日発令分)

令和5年12月28日現在

役職名	任命予定者		
	氏名	年齢	前歴
副理事長	樽見 英樹	64	厚生労働省厚生労働事務次官 日本年金機構副理事長 [OB]

選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
日本年金機構	副理事長	樽見 英樹	64	R4.1.1	厚生労働省厚生労働 事務次官 [OB]	再任	-	-	応募総数 14名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(4名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

日本年金機構役員名簿新旧対照表

役職	氏名	年齢	現任者			前歴	就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
			当初就任年月日	任期	任期満了年月日		氏名	年齢	前歴		
理事長	水島 藤一郎	76	H25.1.18	2	R5.12.31	(株)三井住友銀行 副頭取 (独)年金・健康保険福祉施設整理機構 理事長				厚生労働大臣	
公募 副理事長	樽見 英樹	64	R4.1.1	2	R5.12.31	内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室長 厚生労働省 厚生労働事務次官 【公募OB】	再任			理事長	R6.1.1
理事	草刈 俊彦	62	R4.1.1	2	R5.12.31	日本年金機構 人事部長				理事長	
理事	和田 康紀	54	R5.7.5	2	R5.12.31	厚生労働省 年金局国際年金課長 (国研)国立長寿医療研究センター企画戦略局長 【役員出向】				理事長	
理事	岩井 勝弘	57	R3.7.1	2	R5.12.31	企業年金連合会 審議役 厚生労働省 大臣官房審議官(社会、援護、人道調査、福祉連携担当) 【役員出向】				理事長	
理事	入澤 俊行	60	R4.1.1	2	R5.12.31	日本年金機構 厚生年金保険部長				理事長	
理事	田浦 美香	62	R4.1.1	2	R5.12.31	日本年金機構 相談・サービス推進部長				理事長	
理事	鳶内 博美	61	R5.1.1	2	R5.12.31	日本年金機構 情報管理対策室長				理事長	
理事	江藤 友保	61	R4.1.1	2	R5.12.31	あずさ監査法人 総務部次長 日本年金機構 監査部長				理事長	
理事 (非常勤)	川端 和治	78	H25.4.1	2	R5.12.31	弁護士(霞ヶ関総合法律事務所)(現職) 日本弁護士連合会副会長、第二東京弁護士会会長 NKJSJホールディングス(株)取締役、指名・報酬委員会委員長				理事長	
理事 (非常勤)	辻廣 雅文	65	H30.1.1	2	R5.12.31	西武鉄道(株)取締役(現職) 帝京大学経済学部経営学科教授(現職)				理事長	
理事 (非常勤)	吉永 みち子	73	R4.1.1	2	R5.12.31	映画倫理委員会 副委員長(現職) 民間放送教育協会 会長(現職)				理事長	
監事	石原 亨	62	H30.1.1	2	R5.12.31	D×アンテナ(株) 常勤監査役 日本年金機構 監査部長				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	矢崎 ふみ子	74	R4.1.1	2	R5.12.31	税理士法人山田&パートナーズ 顧問(現職) 北野建設(株) 社外取締役(現職)				厚生労働大臣	

日本年金機構副理事長選任理由

日本年金機構の使命は、政府が管掌する厚生年金保険事業及び国民年金事業等について、法律に基づく業務等を行うことにより、政府管掌年金事業の適正な運営や年金制度に対する国民の信頼確保を図るとともに、国民生活の安定に寄与することにある。

このような使命を有する機構にあつて、副理事長には、そのミッションとして、理事長を補佐して機構の業務を掌理するとともに中期計画の推進など法人運営全般に関する業務を確実に実施すること、また、より一層のお客様サービスの向上に向けて、更なる経営改革を進めていくことが求められる。

本件公募に対しては、14人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である理事長に提示し、理事長が選考委員会から最も高い評価を得た樽見英樹氏を選任したところである。

任命理由として、樽見氏は、日本年金機構設立時に経営企画部長、人事管理部長を務め、また、厚生労働省において当機構に関連する要職である年金管理審議官を務めるなど、公的年金に関し豊富な知見を有しているほか、厚生労働事務次官として、厚生労働行政全体の政策調整や組織管理を経験し、令和4年1月からは本法人の副理事長を務めていることから、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の改革・発展のため、各種課題に対しても全力を尽くすという強い情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。

特に同人は、本法人の副理事長として就任以降、これまでの経験を活かし、理事長を補佐するとともに、中期計画の推進など法人運営全般に携わるなど、年金実務の子細や当機構の実情に精通しているという強みを持っており、理事長もそうした能力と情熱に大いに期待し、選考委員会の判断を尊重することとしたところである。

選考委員会の属性について

【厚生労働省】

- ・ 特殊法人 日本年金機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・ 大学役員 1名
- ・ 会社役員 1名
- ・ 弁護士 1名
- ・ 社会保険労務士 1名

計 4名